



心豊かに、しなやかに

## しなやかに輝く女性に 中四国地連女性協議会定期大会

8月31日、広島市内で中四国地連女性協議会定期大会が開催されました。

「良い意味で平穏な年。地連女性協としてさまざまなきことを齎み、よりよく暮らす年にしていききたい」との議長挨拶から始ま

った定期大会。参加しやすくりラックスした雰囲気の中で交流できるよう、昼食を囲みながら報告・決議を行うスタイルで実施。今回は広島、愛媛、香川の三県から六

単組二名が参加し、和やかな雰囲気の中で活発な意見交換が行われました。

中四国地連では男性の

育休・育児時短勤務取得や、育児時短勤務対象児の年齢引き上げなど明るいニュースもあり、積極的な情報開示により各単組に良い影響が波及することを望みます。「学ぶこと」「伝えること」「寄り添うこと」そして「踏み出す勇氣」が職場環境

の改善につながることを再認識しました。

中四国地連書記局に会場を移して行われた基調講演では、広島県職員として全国初の働く女性・子育て支援部長、(公財)広島県男女共同参画財団常務理事を経て独立されたキャリアア

フォーカス代表の棚多里美さんを講師に迎え「女性活躍のためのアンガーマネジメント」について話を伺いました。負の感情をマネジメントすることにより、生産性の向上、人間関係の改善、チーム力の向上、成長の実感、職場環境の健全化が図れるのだとか。怒りを抑えるホルモンが分泌されるまでの六秒間をいかにセルフコントロールするか。放送業界の女性たちが心豊かにしなやかに暮らすためのヒントをいただく学びの時間

となりました。

さまざまなバックグラウンドを持つ働く女性が集まる女性協議会は、まさに各職場の縮図。新旧役員の間

代後も良い関係を保ちつつ、より働きやすい環境を目指したいと思います。

(中四国地連女性協議会  
書記長 松岡千映)